

第4回全日本 BMX フリースタイル選手権における 新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン

(一社) 全日本フリースタイル BMX 連盟

全日本 BMX フリースタイル選手権を主管する(一社)全日本フリースタイル BMX 連盟は、大会開催における新型コロナウイルス感染拡大予防について、(公財)日本自転車競技連盟から示された指針/ガイドラインに基づき、大会独自指針を下記の通り示します。

なお、ガイドラインは事前にホームページで公表することにより事前周知を行うとともに、会場内の掲示物やアナウンス等によりわかりやすく案内いたします。

入場口

- ・入口手前で、入場登録(目的はメールアドレス取得。事後、陽性者が会場にいたことが判明した場合に連絡するため)を行う。家族やグループの場合は代表者のみの登録でも構わない。Google フォームを活用し、メールアドレスとグループ人数。
- ・ゲートで検温(非接触体温計でスタッフが検温)。37度以上の場合、体調不良がないかを口頭で確認。37.5度以上で入場できない。
- ・マスク着用を依頼。マスクなしでは入場できない。
- ・消毒液を設置し、手指消毒を依頼。
- ・入口、出口の導線を分ける。(会場によって難しい場合は、入場者と退場者が密にならないよう導線を工夫する。)

会場

- ・会場周辺に適宜誘導スタッフを配置し、滞留しないよう促す。
- ・会場内(入口以外)に1箇所以上、消毒液を設置する。
- ・トイレのドア、てすりなど不特定多数が触れる場所は、1時間に1回程度、消毒液で拭く。

観覧スペース

- ・観覧席(椅子)は、椅子の間隔を前後それぞれ1m設ける。
- ・観覧席(立ち見)は、人の間隔を前後それぞれ1m設ける(足元マークで誘導)。
- ・会場のキャパシティを超えた場合、入場制限を行う。なお会場のキャパシティは、観覧スペースにおいて1人あたり1.5㎡を基準に算出する。

- ・各自が用意したマスクを着用してもらう。
- ・会場内での水分補給や軽食は可能とするが、長時間連続してマスクを外さなければいけないような飲食（目安として15分を超えるような食事）はご遠慮いただく。
- ・水分補給や軽食、熱中症回避等により一時的にマスクを外すことは問題ないが、その間は他社と密接しない、大声を出さない等の配慮を求め、他者と密集した状態での飲食は避けるよう促す。
- ・ハイタッチ、ハグ、肩くみなど他者と密接する応援はご遠慮いただく。ソーシャルディスタンスを保つよう促す。
- ・家族はソーシャルディスタンスの対象としない。
- ・上記要請について、スタッフが注意しても守っていただけない場合は、会場から退場させることができる。

スタッフについて

- ・大会直近2週間の検温と行動記録を行う。
- ・体調が優れない場合、陽性者との濃厚接触者と判断された場合には欠席する。
- ・マスクを着用する。人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には適宜マスクをはずしても良い。
- ・食事の際は、向かい合って食べない、喋りながら長時間かけて食べないことに注意する。

その他

- ・全ての関係者（選手、スタッフ、観客）に、熱中症の予防に努めるよう周知する。

厚生労働省「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

- ・全ての関係者（選手、スタッフ、観客）に、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを推奨する。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

競技会について（BMX フリースタイル・パーク）

練習走行

- ・1回の走行人数を最大5人とする。
- ・競技エリアを走行中の選手は、他選手との間の距離を2m程度保つ。

出場待機

- ・ 1 ヒートの人数（最大 5 人）が 1 m 以上の間隔をあけて待機できる場所（待機エリア）を確保する。
- ・ 待機エリアに消毒液を設置し、集合した選手に手指消毒を促す。
- ・ ハイタッチ、ハグは控えるよう促す。
- ・ 2 ヒート目以降の選手は、直前ヒートの 2 ラン目が始まるタイミングで集合する。
（集合時間を直前に設定することで、待機エリアでの密集を回避）

出走後

- ・ 各自の走行ヒートが終了したら、速やかに待機エリアから退出する。
- ・ 待機エリアから退出するタイミングで、マスク着用を促す。

救護

- ・ 発熱等の体調不良者が出た場合には、会場で待機させず、医療機関の受診及び自宅やホテルでの待機を促す。
- ・ 救護にあたる際、スタッフはフェイスシールドを着用する。

競技会について（BMX フリースタイル・フラットランド）

<スタンバイエリア>

- ・ スタンバイ中の選手は、ライディング中の選手との距離を 2m の間隔を保つ。
- ・ スタンバイ中の選手は、他のスタンバイ中の選手との距離を 1 m 程度保つ。
- ・ スタンバイエリアは、競技エリアに隣接した場所で 5 名程度が待機できるスペース（1 人 2 m²として 10 m²程度）を確保する。
- ・ スタンバイ中の選手は、マスクを着用しなくて良い。
- ・ ハイタッチ、ハグは控えるよう促す。
- ・ 出番が終了したら、スタンバイエリアからは退出する。

<待機エリア>

- ・ 待機エリア（裏）に消毒液を設置し、集合した選手に手指消毒を促す。
- ・ 待機エリアには、自分の出番前後以外や混雑が見られる時は滞留しない。
- ・ 待機エリアでは、基本的にマスクの着用を求める。
- ・ 待機エリアには、消毒液を 1 箇所設置する。

救護

- ・発熱等の体調不良者が出た場合には、会場で待機させず、医療機関の受診及び自宅やホテルでの待機を促す。
- ・救護にあたる際、スタッフはフェイスシールドを着用する。